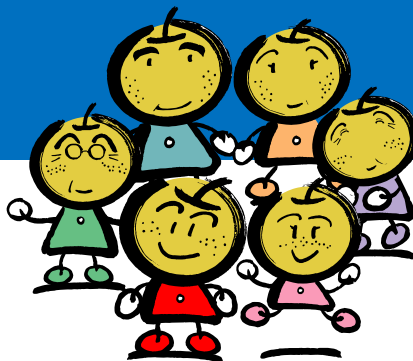


令和5年度 第2回白井市在宅医療・ 介護連携、認知症対策推進協議会

2023.10.5 (木)



<目次>

1. 在宅医療・介護連携推進事業、認知症施策

上半期実績報告

2. 認知症初期集中支援チーム上半期活動実績報告

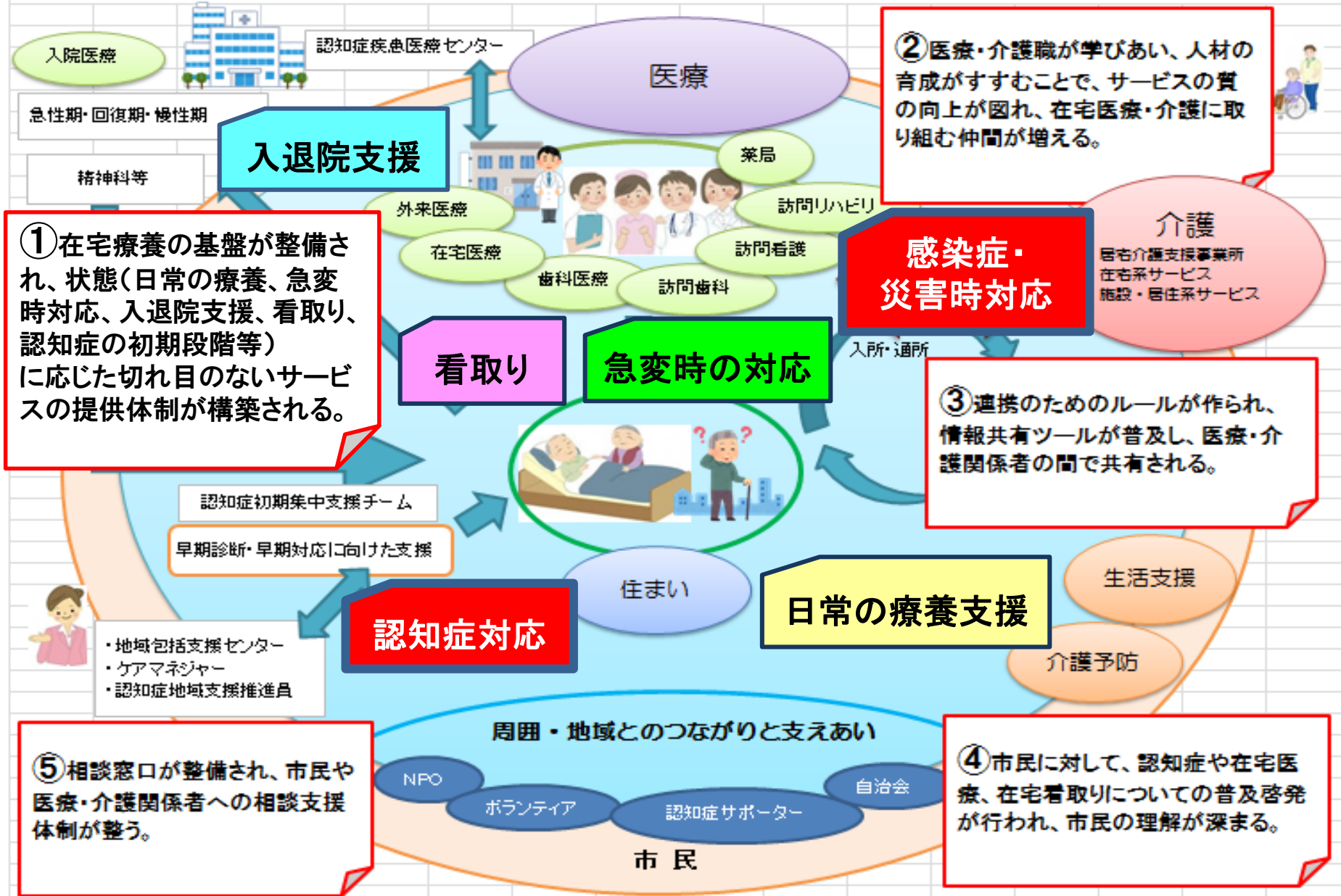
3. 白井市認知症ガイドブックの改訂について

4. 意見交換

「令和6年度(仮)認知症みまもり模擬訓練実施に向けて」

1. 在宅医療・介護連携推進事業、 認知症施策の上半期実施報告

住み慣れた地域で、最期まで暮らし続けることができるためには・・・



白井市の目指す姿 (5つの柱)

令和5年度の事業実施方針

日常の療養支援

在宅医療後方支援制度の普及、情報共有の推進、在宅療養への市民理解促進、在宅医療・介護の連携状況の分析

入退院支援

入退院時連携ルールBook活用状況の把握、入退院支援に関わる医療機関と介護事業所等の意見交換会

急変時の対応

介護事業所向け急変時対応講習会、医療・介護・消防（救急）の意見交換会、救急医療情報キットの普及

看取り

終活支援ノートやACPについて市民への普及啓発、介護関係者のACPへの理解醸成のための講座の開催

認知症対応

認知症ガイドブックの見直し、認知症支援体制の評価方法の検討・実施、本人ミーティングの開催

感染症・災害時対応

感染症の対応、災害時の在宅療養者への対応検討（関係課、消防(救急)介護事業所等）

①感染症の取り組み

感染症対策研修会の開催

～新型コロナウイルス感染症対策どうしていますか～

感染症対策研修会

～新型コロナウイルス感染症対策どうしていますか～

日時：令和5年9月14日（木）

午後6時から

講師：北総白井病院

感染症管理認定看護師 植草しのぶ氏

**対象：市内の介護通所事業所、介護訪問事業所、
介護施設の管理者の方**

参加者：14名

（施設：7か所 通所介護：1か所 訪問介護：2か所）

**第2弾としてその他の感染症対策の研修会を11/29
に実施予定**

新型コロナウイルスや感染症に対して事業所内で困っていること

- ・職員が感染すると変わりの人が見つからなかった時。
- ・特養などは、8割くらいマスクができない人なので感染対策が徹底できない。
- ・ワクチン接種を拒否する人がいる。
- ・ショートステイ利用者は本当は検査してから利用してほしい。
- ・施設によっては感染したとしても隔離が難しい。
- ・危機管理が低くなってきている人もいる。
- ・手指消毒をしなくなった(少なくなった)

新型コロナウイルスや感染症に対して事業者内で工夫していること

- ・検温の徹底をしている。(1日数回実施)
- ・時間を決めての換気
- ・職員に対して、感染予防について定期的なアナウンスをして意識をしてもらうようにする。
- ・必要時、フェイスカバーやガウン、N95マスク、ゴーグルなどの着用の徹底をしている。
- ・定期的に抗原検査をする。など・・・

利用者（入所者）、職員又は職員の家族等に発熱が出た場合の対応について

- ・入所者全員一日に2回検温（平熱も分かる）発熱した時点で隔離する。
- ・数日隔離や部屋の移動制限
- ・3日間仕事を休んでもらいその後検査で陰性なら出勤（休む期間は事業所によって違う）
- ・陽性職員が増えた場合、同じ事業所の違う部署で働く人で調整し働く人を確保する。

アンケートより

- ・5類になったことで安心していただいていた部分があった。再度施設での対策が必要だと思った。
- ・コロナに対しての危機感が低くなっていることを実感できた。スタッフにも研修内容を伝えたい。
- ・自分たちの対策、対応、指導が間違っていないと確認できた。
- ・事業所でのそれぞれの課題もあるが共通部分もあり有意義だった。
- ・色々な事業所の話しが聞けて参考になり、共感する部分もあり、話しができてよかった。

② 課題別ワーキングの取り組み

- 入退院時連携ワーキング
- 認知症支援体制ワーキング

令和5年度 検討の体制

在宅医療・介護連携、
認知症対策推進協議会

病院長会議

(在宅医療後方支援
体制)

入退院時連携

WG

認知症支援

体制WG

随時

ICT普及啓発

認知症支援体制ワーキング

開催日	内容
第1回 6月22日(木)	<ul style="list-style-type: none">●市の認知症施策についての紹介●認知症の人や家族の支援について必要と思う取り組み●認知症ガイドブックについて、見直しの検討
第2回 7月27日(木)	<ul style="list-style-type: none">●認知症ガイドブックの見直し 前回意見をもらい直したところを確認。
第3回 9月20日(水)	<ul style="list-style-type: none">●事前に修正したガイドブックを郵送し、最終で訂正したほうがよいところを確認。最終の完成に向けて話し合い。

入退院時連携ワーキング

11月中旬に第1回目を実施予定としています。

内容：入退院時連携ルールBook活用状況の把握を行う。

入退院支援に関わる医療機関、居宅介護事業所等の意見交換会を行い、スムーズに入退院支援ができるように取り組んでいく予定。

③救急医療情報キット活用状況



令和5年度 救急医療情報キット配布実績

キット配布数 (2023.4月～2023.8月末)	累計 (2017.12～)
396	5,080

令和5年度 救急活動現場におけるキット活用実績

※令和5年度市内65歳以上の救急出動件数 787件 (2023.8月末)

自宅用シート	141件
介護施設用シート	49件

2. 認知症初期集中支援チーム 上半期活動実績報告

資料

「認知症初期集中支援チーム令和4年度上半期活動実績」

9月は 認知症啓発月間

認知症についての展示



3. 認知症ガイドブックの改訂について

4. 意見交換

下記について委員の皆様からお話を伺いたいと思います。

「令和6年度(仮)認知症みまもり模擬訓練実施に向けて」

次のページのイメージを参考に、イメージに近い訓練をする場合、それぞれの立場でどのような協力ができますか。



見守り訓練イメージ

認知症役の人への声かけなどの対応を通して、認知症の人の気持ちや地域で認知症の人を支えることの大切さを体感しましょう。

声かけの場面

夏なのに冬用のはんてんを着て、キョロキョロと不安な様子で歩いている人がいます。



参加者

「どうかされましたか？
私は近所の〇〇です。」

認知症役

「郵便局に行きたいんやけど、
道がわからなくなったんや。」

参加者

「郵便局ですか。私も同じ方向なので
一緒に行きましょう。」

認知症役

「そうですか。
ありがとうございます。」

サポート役のアドバイス

- 自分の名前を伝えたことで安心してもらえたと思います。
- 熱中症の心配がないか木陰などに誘導し、体調を確認することが大切です。
- 郵便局に送り届けるだけでなく、郵便局の方に状況を伝えましょう。

認知症役の様々な設定の例

設定	対応のポイント
昔と今の記憶が混在して、 現在は閉店したお店に行こうとしている	<ul style="list-style-type: none"> ● 間違いを否定しない。 ● 行き先が不明確な時は、身元がわかるものがないか尋ねる。
室内スリッパを履いたまま、 デイサービスから出てきて歩いている	<ul style="list-style-type: none"> ● スリッパや杖等に事業所の名前が記載されていないか確認する。
道に迷い、水路の脇に、 疲れた様子で座りこんでいる	<ul style="list-style-type: none"> ● 驚かせないように声かけし、安全な場所へ誘導する。 ● 体調不良やケガはないか確認する。

※地域の介護サービス事業所の専門職と一緒に考えましょう。

訓練参加者



地域住民



民生委員



認知症パートナー



民間企業
(銀行・スーパー等)



介護事業所



警察



消防



病院



市役所



地域包括支援センター

2023年の白井 17,593人の高齢者

要支援・介護認定者 2,622人



認知症高齢者1,496人
⇒高齢者の8.5% 認定者の60.1%



認定を受けていない方
14,971人



次回会議日程

令和6年2月1日(木) 午後2時～